

文部科学省

大学教育充実のための戦略的・大学連携支援プログラム 平成22年 4月 2日 (第14号)  
「教員養成コンソーシアム四国」情報

# コンソーシアム

徳島文理大学  
「教員養成コンソーシアム四国」事務局

## 「教員養成コンソーシアム四国」第1回フォーラムが開催されました

3月27日(土)、「教員養成コンソーシアム四国」第1回フォーラムが高松市の全日空ホテルクレメント高松で開催されました。徳島県内、香川県内から学生、一般、小中学校教員、大学教員あわせて約100名の参加者がありました。

はじめに、「教員養成コンソーシアム四国」推進委員会委員長の桐野豊 徳島文理大学学長から挨拶があり、その後、教職課程部会、教育内容改善・充実部会、地域連携部会、情報システム部会より、本事業の**取り組み状況についての報告**を行いました。

続いて、「**これからの教員養成**」という演題で、玉川大学教職大学院科長の長野正先生より**講演**をいただきました。

**平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成の在り方」の重要性**をふまえて、特に**学部の教職課程の質的な改善の必要性**について、お話をいただきました。

社会環境の変化、教員に対する信頼感のゆらぎ、教員に対する期待と要求の多様化、職場の多忙化と同僚性の希薄化、退職者の増加と採用の増加等の状況の変化に対応した教員養成の方向を、教職大学院の実際から見えてきた課題と関連づけて、わかりやすくお話いただきました。

**学部教職課程の質的改善**では、

- ①「教職実践演習」の実効化
- ②カリキュラムの再体系化
- ③学校における実習の重要視
- ④教育実習の臨床研究化

の4課題について具体的にお話いただきました。

**パネルディスカッション**では、四国学院大学 神野明 副学長の司会で、小中学校教員、保護者、学生、教育委員会、大学教員の6名のパネリストの方から、「**これからの教員養成と学校・地域・大学の連携**」というテーマで、それぞれの立場から、体験に基づいてお話をいただきました。

教員に求められるもの、教員養成の在り方、学校・地域・大学の連携の重要性などについて、多様なご意見をいただくことができました。



長野先生の講演



推進委員長挨拶



取り組み状況の報告



パネルディスカッション

徳島文理大学「教員養成コンソーシアム四国」事務局

Tel 088-602-8048

E-mail kyouin-consortium@tks.bunri-u.ac.jp

E-mail consortium@tks.bunri-u.ac.jp